

10月4日(木曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、115円が視界に

3日(水)の為替相場



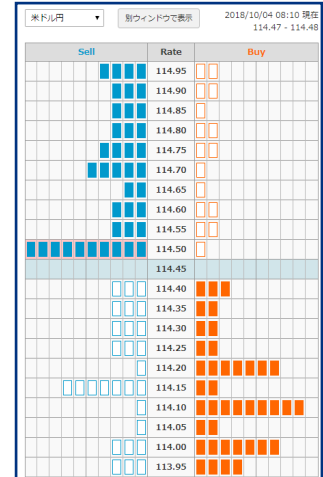
期間 3日(水)午前6時10分~4日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所:外為どっとコム

- ① イタリア紙が、イタリアは2021年に財政赤字の対GDP比を2%まで圧縮することを目指すと報じた事を受けて、同国の債務不安が後退するとユーロが急伸。ユーロ/円の上昇につれてドル/円や他のクロス円も買いが強まった。
- ② メイ英首相が与党保守党の党大会で演説を行い「英国は合意なき離脱を恐れない」「合意なき離脱は、英国と欧州連合(EU)にとって悪い結果をもたらす可能性」「合意なき離脱は、関税引き上げや国境問題をもたらす可能性」「合意なき離脱の放棄は、EU離脱=Brexit交渉で英国の立場を弱める」などと発言した。
- ③ 米9月ADP全国雇用者数は23.0万人増と市場予想(18.4万人増)を上回った。また、前月分が16.3万人増から16.8万人増へ小幅に上方修正されたがドルの反応は小さかった。
- ④ 米9月ISM非製造業景況指数は61.6(前回:58.5)と、低下予想に反して1997年8月以来の水準に上昇。内訳の新規受注指数(61.6)や雇用指数(62.4)も前回から上昇した。これを受けてドル買いが強まった。
- ⑤ 米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長が講演を行い、米経済が拡大する状況は「かなり長期間にわたり続く可能性がある」と発言。「際立って良好な」米経済が拡大を続ける中で、FRBは想定される中立金利を上回る水準に政策金利を引き上げる可能性があるとの認識を示した。これを受けて米長期金利が上昇幅を拡大し、10年債利回りが2011年以来の水準となる3.18%台に上昇すると、ドル/円は114.50円台に上値を伸ばした。

3日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
24110.96 ▼159.66	6146.071 △19.857	休場	7510.28 △35.73	休場
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
26828.39 △54.45	0.1410% △0.0110	2.639% ▼0.030	1.575% △0.046	0.475% △0.053
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.8720% △0.0611	3.1813% △0.1182	76.41 △1.18	1202.90 ▼4.10	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	114.000-115.200	130.800-132.000	80.900-81.900	147.500-148.900

【ドル/円】

昨日のドル/円は年初来高値を更新して114.50円台まで上昇。経済指標の好結果を受けて米長期金利が上昇する中、ドル買いが強まった。なお、パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長は、米経済が拡大する状況が「かなり長期間にわたり続く可能性がある」との認識を示した。そうした中、NYダウ平均株価も2日連続で史上最高値を更新しており、まさに市場は「米国ひとり勝ち」の様相だ。明日の米9月雇用統計にも良好な結果が期待される中、ドルは本日も堅調を維持する公算が大きい。ドル/円は、114.00円台の上値抵抗を突破した事で2017年3月以来の115円台を視界に捉えたと考えられる。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
10/4(木)	10:30		(豪)8月貿易収支	+15.51億AUD	+14.50億AUD
	20:30		(米)9月チャレンジャー人員削減数(前年比)	13.7%	--
	21:30	○	(米)新規失業保険申請件数	21.4万件	21.5万件
	22:15		(米)クオールズFRB副議長、講演	--	--
	22:30		(ユーロ圏)ノボトニー・オーストリア中銀総裁、講演	--	--
	23:00		(米)8月製造業新規受注(前月比)	-0.8%	+2.1%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。